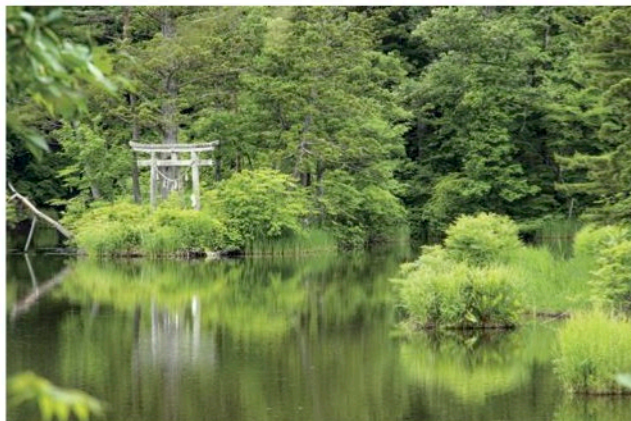


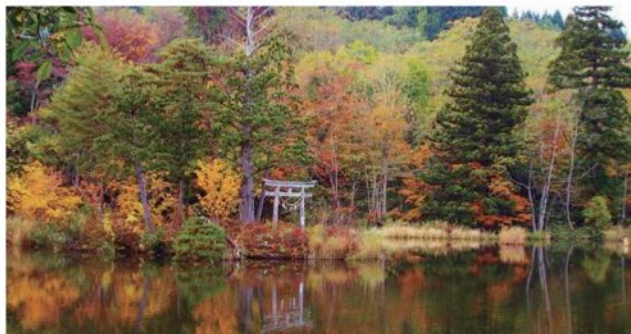


大沼の浮島の歴史

大沼の浮島は白鳳9年(680年)、山岳修験者・役小角により発見され、弟子・覚道によって開山されたと伝えられています。大沼は、浮嶋稲荷神社の境内にあり、面積はおよそ2haの沼です。この沼は、湖上にいくつもの島が浮遊する神秘の沼として古来より注目されました。沼は狐の形をしており、湖畔には、雨乞い檀、芭蕉塚、浪騰松等の伝説に富む史跡が残っています。以前は湖上に浮遊する大小60あまりの島々を旧日本国数にかたどり、名がつけられていました。春・3月頃より初秋に至る間、特に、朝夕に島々の浮遊が多く、動静によって吉凶を占ったと伝えられています。

現在は、大きいもので直径約3m、小さいもので約30cmの島が20~30あり、湖上を浮遊する状態は神秘的であり、学界でも珍しい現象と言われています。

大正14年(1925年)には国の名勝に指定されています。



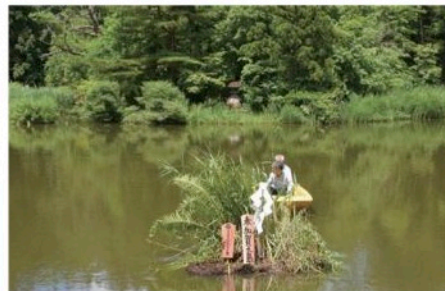
大沼浮嶋稲荷神社例大祭



毎年5月5日、社務所より浮嶋稲荷神社までの約1kmの道のりを祭礼に参列する楽人、祭主、氏子等が古式ゆかしい装束で雅楽を奏でながら厳かに神社へと参進し、神事を行います。

島まつり

毎年7月第3日曜日、湖畔より新しい「島」が切り出され、その年の吉方位にある旧国名にちなんだ名前がつけられます。浮島雅楽の調べのもと、地区の繁栄や無病息災を祈願し、氏子らの手により、新しい島は湖面中央に浮かべられます。



◆アクセスマップ



◆◆◆ お問い合わせ ◆◆◆

山形県 朝日町 観光協会

TEL:0237-67-2134 <http://asahimachi-kanko.jp>

大沼の浮島

《国指定名勝》

山形県朝日町



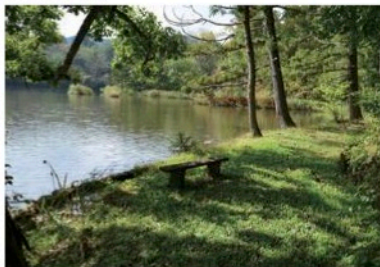
しま遊ぶ
夢の行方や
つゆ時雨

鸛窓
らんそう

湖畔周辺の自然環境

時の為政者による庇護や神職、氏子等の手によって守られてきた植生があり、現在でも多くの珍しい植物を目にすることができます。

※採取等はしないでください。



国指定名勝大沼の浮島 散策マップ

遊歩道が整備されており、沼の周りを一周することができます。(約30分)



朝日町エコミュージアム 案内人の会

大沼の浮島やその周辺の歴史、見どころをご案内いたします。

(有料、事前申込み必要)

TEL 0237-67-2128 (月・木 休館)

浮嶋稲荷神社

県内最古の歴史を持つとされる浮嶋稲荷神社は古来より家内安全・病氣平癒・開運・武運長久の守護神であり、戦前は県社として盛大に祭礼が催され、現在は、海上安全・交通安全・学業成就を願う人が訪れます。



きりぎりす 鳥鵲橋

天の川伝説にちなみ相思相愛の男女が共に渡れば、縁が結ばれると伝えられています。

